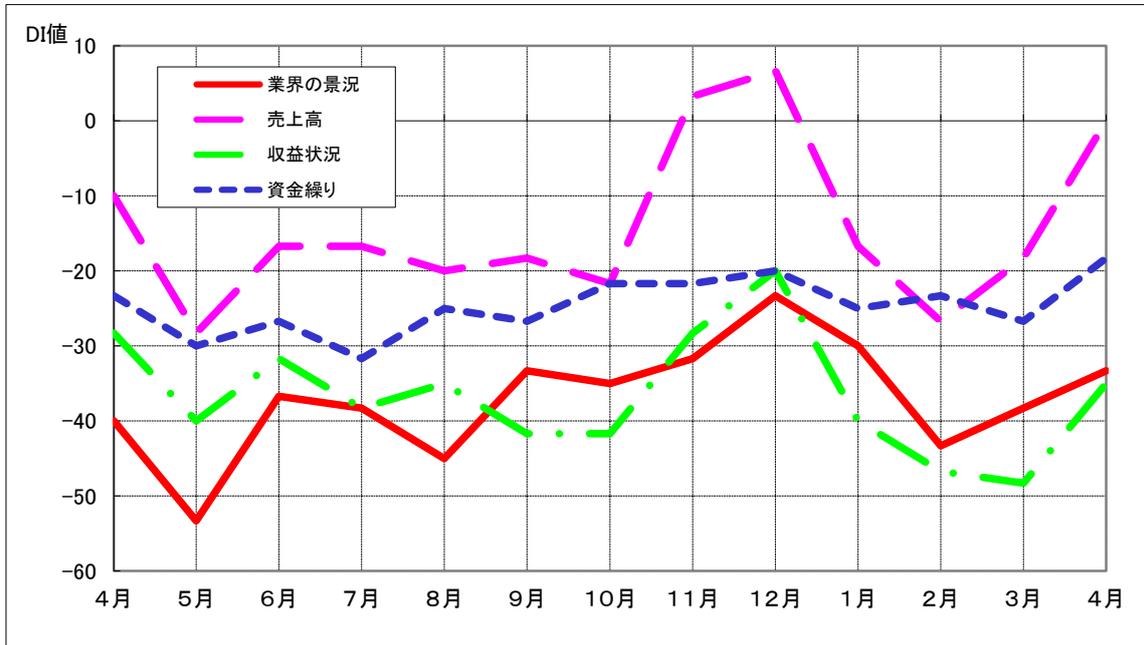


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年4月～令和4年4月

単位:ポイント



	R3				R4								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-40.0	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3
売上高	-10.0	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3	0.0
収益状況	-28.3	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0
資金繰り	-23.3	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3

4月のDI値は前月と比べ、4項目全て改善であった。「売上高」DI値は18.3ポイント、「収益状況」DI値は13.3ポイント、「資金繰り」DI値は8.4ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイントそれぞれ改善した。

前年同月比においては3項目改善、1項目悪化し、「売上高」DI値は10.0ポイント、「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は5.0ポイント改善し、「収益状況」DI値は6.7ポイント悪化した。

製造業においては、3月に引続き、材料や資材価格の上昇が報告されている。それに加えて、原油高騰の影響もあり、価格転嫁が追いつかないとの報告が見受けられた。そのため収益状況は厳しいようである。業界全体で協調的に価格転嫁の動きを進めるべきとの意見もあった。また、電子部品、金物、合板等の多くの品物で調達難、品薄状態が発生しており、改善の見込みも立たないため先行きを不安視する意見が寄せられた。

非製造業者においては4月に入り、新型コロナウイルス禍の規制が緩和されたことで人の動きが一部戻り始めている。しかし、県内の新型コロナウイルス感染者数は依然として高止まりしており、夜間の外出等は少ない。また、回復状況についても地域や施設によって差がある。非製造業についても燃料や仕入価格の上昇の影響が広がっており、中には価格転嫁ができていない事業者もいる。

今後、世界情勢等の影響で更なる原油、原材料の高騰が考えられる。その中で中小企業が利益を守り、対応できるような事業支援制度の構築及び新設を望む声があがっている。